

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

 八丈町
No.194
2020.5.25 発行

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます
<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/gikaidayori.html>



創立 30 周年で第九を歌ったのは最高の思い出です

ちよんこめ作業所
NPO法人ちよんこめ会



スタッフさん手作りの給食は一日の楽しみ。給食後にのんびり

アルミ缶は、ぜひちよんこめへ。

ちよんこめ作業所は、障害のあるみなさんが集い、アルミ缶回収をはじめとしたお仕事やレクリエーションをする場所です。現在の作業所も、利用者さんが 29 名に増え手狭になってきたとのこと。新しい作業所をつくるためにみんなで頑張っています。

取材者・岩崎由美

今回は写真提供をお願いし、電話取材をしました。



アルミ缶プレス作業中

CONTENTS

コロナの影響どこまで 新年度予算可決

- 2P 第 1 回定例会
- 3P 一般質問 (3 月定例会)
- 9P 質疑より
- 10P 和歌山県田辺市行政視察報告
- 11P 島内見学レポート八丈町クリーンセンター

第1回定例会

令和2年3月4、17、18、30日

コロナの影響 どこまで

新年度予算可決！

3月議会は新年度予算審議と流行している新型コロナウイルスに対する町の対策中心に活発な審議が行われました。

令和2年度予算は、消費税増税などの影響を受け、一般会計が前年より2億円アップの約76億円で、特別会計が約25億円、企業会計が約34億円となりました。

大部分が前年と同じ事業と予算配分ですが、新しい事業として、今年度から4年掛けて取り組む新クリーンセンターの建設準備、小中学校へのタブレット導入、特別教室への空調整備、焼失したふるさと村の建物移築などがあります。移住促進や就農促進についても新しい事業を行います。一方、滞在型観光拡充支援事業のように予算化されたものの執行されない事業がないよう指摘もありました。住民から要望の多いセグロアシナガバチの駆除に向けた予算も初めて計上されました。介護保険は高齢者の増加に伴い予算が増え、健康保険は2年おきの保険料改定の年で料金改定がなされます。また、臨時職員の働き方が「会計年度任用職員」となります。給与体系が変わり賃金や手当など手厚くなりますが、扶養控除を受けるため仕事の時間を減らす傾向があり、支出は増えるのに人手不

足になりそうです。

以前から問題になっていた病院の看護師は数人採用ができました。現場の意見を吸い上げるため看護師長を2人体制にし、小児科医師も採用できたと報告されました。

新型コロナウイルス関連は質問や議論が集中し、各課の課長から町の方針や対策が丁寧に説明されました（詳しくはP9の質疑より）。会議中は、感染予防のため長めの休憩時間を設定し、窓を全開にして換気を行うなどのコロナ対策もなされました。

最後に、以前より取り組んできた八丈島および八丈小島のノヤギの駆除が終了したと町長から報告がありました。様々な地域で問題になっている害獣駆除をやり遂げたのは都内でも初めてのことで、画期的成果です。

(沖山恵子)

会計年度任用職員とは

地方公務員法第22条の2の規定に基づき任用される非常勤職員です。これまでの臨時的任用職員や非常勤の特別職員と比べて、休暇、福利厚生、手当等の拡充がされますが、その一方で、服務規律（守秘義務や職務に専念する義務等）が適用され、かつ、懲戒処分等の対象にもなります。

主な議決事項

3月定例会 令和2年3月4,17,18,30日 開催

- ◎ 専決処分事項の報告及び承認について（平成31年度八丈町一般会計補正予算）
ほか専決処分1件
- ◎ 八丈町職員懲戒審査委員会委員及び補充員の任命の同意について
- ◎ 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- ◎ 平成31年度八丈町一般会計補正予算
ほか補正予算7件
- ◎ 学校給食運搬車購入契約 ほか契約2件
- ◎ 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約
- ◎ 令和2年度八丈町一般会計予算
ほか予算7件
- ◎ 八丈町職員定数条例の一部を改正する条例
ほか条例7件

- ◎ 東京都市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更について
- ◎ 東京都市町村職員退職手当組合理約の変更について
- ◎ 東京都市町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更について
- ◎ 議員の派遣承認について（令和2年度東京都町村議会議員講演会）ほか派遣承認3件
- ◎ 損害賠償の額の決定について
- ◎ 八丈町辺地総合整備計画の策定について

主な会議事項

議会運営委員会

令和2年2月26日、3月13日開催

- ◎ 令和2年第一回八丈町議会定例会について

一般質問

3月4、17、18、30日
質問者7人

3月定例会では、町政全般へ7名の議員が18項目にわたる一般質問を行いました。掲載した原稿については、質問議員が作成しています。なお、紙面の都合上、質問内容、回答ともに要約したものととなっておりますのでご了承ください。

質問の録画映像はインターネットでもご覧いただけます。

<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/movie/movie021.html>

氏名	質問項目
宮崎陽子	東京都主催防災に関するシンポジウムでの知見より
金川孝幸	八丈町人口ビジョン「八丈町まち・ひと・しごと創生総合戦略」など人口問題への取組み状況について 人口問題の切り札として企業誘致の取組みについて 人口問題や地方創生に取り組む対策室など専門部署設置について
山本忠志	「感染症は災害」との認識で対応を 八丈町の「GIGAスクール構想」を問う 官民協働で「選ばれる町、八丈町」に
沖山恵子	地熱発電掘削中の地熱館の運営方針は オリックスの地熱発電地域還元策を町が応援することはできないか 現金決済のみだった町立病院の支払をカード可とするのか 町の施設の長寿命化調査の結果はどうなったか
山下則子	八丈町の避難所管理運営の適正化を
岩崎由美	正確な気象予測のためにドップラーレーダー設置の要望を 誰もが住みやすい八丈島に 都立八丈高校に特別支援学校併設の推進を
浅沼隆章	感染症対策について 移住定住促進について 災害時の水道整備について



宮崎陽子議員

所要時間 15分

東京都主催防災に関するシンポジウムでの知見より

東京都副知事を八丈町にお迎えしてsociety5.0について、八丈町議会で登壇されたが、その数週間前に私は、東京都知事が自ら登壇された東京都主催、防災に関するシンポジウムに出席し、日本の伝統文化の一つとして風呂敷を使う知識を養う事による自助への新たな取り組みも学ぶことが出来た。今、世

界的に騒ぎとなっている新型コロナウイルス対策が問われている中で、更に自助の力を活かす手段として、デジタル機器がその力を発揮している。新型コロナウイルス対策により、突然、学校関係も休みとなり、心を痛めた子供達や保護者の方々の悲痛な思いを緩和してくれたのがICTである。「学びを止めない未来の教室」として経済産業省から緊急メッセージが伝えられ、現在では自宅に居ながらにして、心のケアをはじめ、無料で勉強できる時代になった。八丈町でもsociety5.0を視野に入れた「次世代モビリティ」が求められる今日となり、人口減少と高齢化社会に対応して防災や福祉にも役立つ「移動サービスシステム」のプラットフォーム、早期構築が

重要である。八丈町でその第一歩となる、初のタブレット無料勉強会を自ら主宰して行ったが、すでに次々と他の島でも導入に向けた取り組みが進んでいる。

問 2020年、学校教育にプログラミングも導入する現在を改めて認識しつつ、大人も理解を深めるためのICTリテラシーが問われている。八丈町基本構想基本計画の見直しを考えたデジタル機器の有効活用について八丈町からの前向きな見解を問う。

答 企画財政課長 宮崎陽子議員からsociety5.0、行政のデジタル化、高齢者の見守り、防災など、様々な視点でICTについてのご質問があり、町としても大変勉強させていただいたところである。ICT活用は町としても当然検討していくものと認識している。次期基本構想策定における基本方針にsociety5.0などの新たな町の将来ビジョンを展望すると明記した。住民の利便性の向上と行政運営の効率化を目的とした行政のデジタル化をはじめ、総合開発審議会や関係機関のご意見を伺いながら考えている。インターネット環境やモバイル機器が生活必需品となっている中で、情報格差は生活格差ともいわれている。特に情報弱者となる恐れのある高齢者のICTリテラシー向上は重要である。町としてはデジタル社会に向けて官民間問わず様々な方を巻き込みながら、一歩ずつではあるが進んで参りたいと考えている。



金川 孝幸 議員

所要時間 21分

八丈町人口ビジョン「八丈町まち・ひと・しごと創生総合戦略」など人口問題への取り組み状況について

問 人口減少は飛行機の減便、町立病院や民間の様々な企業の経営にも影響する。更に、近い将来坂下地区でも学校の統廃合の問題も

当然出てくると思う。人口減少の要因は少子高齢化で全国的な問題だが、八丈島にはもう一つの減少要因がある。それは測候所など公的機関の撤退やIT化による無人化である。町では2016年に「八丈町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めているが、その進捗状況と今後の人口問題への取り組みを問う。

答 企画財政課長 人口ビジョンは人口減のスピードの鈍化を目指して策定したが、想定以上に人口減少は進んでいる。来年度で終わる第一期の戦略をしっかりと分析して第二期のビジョンや戦略を策定したい。人の流入については一定の成果がある。

問 創生総合戦略にはPDCAサイクルを活用すると書かれているが、策定後の取り組みは甘くはないか。国では多くの予算を準備し地方のアイデアと意欲を求めているので、重点項目に絞った対応を望む。

答 PDCAサイクル活用は、創生総合戦略において最終年度での取り組みになるが、次期の戦略策定に活かしたい。

PDCAサイクルとは

Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことによって、生産管理や品質管理などの管理業務を継続的に改善していく手法のことです。

人口問題の切り札として企業誘致の取り組みについて

問 距離を長さでなく時間で測れば八丈島は東京や羽田から最も近い島と言える。この立地の良さを活かしてICTを活用すれば、働き方改革となる。通勤時間10分以内や豊かな自然の中で、リフレッシュしながら仕事の効率を上げることも可能だ。和歌山の白浜町では南紀白浜と羽田間の3往復の利便性を活かした企業の誘致に成功している。福島西郷村は東北自動車道や東北新幹線利用による東京からのアクセスの良さを活かして企業誘致に成功している。個人の移住による人口減少に歯止めを掛けるには限界があり、企業誘致を行う考えはないか。

〔答〕 先行の地域に割って入るには企業へのアプローチ方法やメリットを検討する必要がある。他の自治体の例を参考にし、地域に根ざした産業振興による人口増加に取り組みたい。農業の新規就農者は増加傾向にあり5年間で44名就農している。

人口問題や地方創生に取り組む対策室など専門部署設置について

〔問〕 地方創生や人口問題に取り組む対策室などの専門部署を設置し、人口問題に不安を持つ町民の期待に応える考えはないか。

〔答〕 企画財政課長 企画財政課に島暮らし相談窓口を開設しているが、人員や提供できる情報の不足を感じている。今後民間組織と連携を密にして対応したい。

〔問〕 企画財政課は常に予算や決算に追われて忙しく、重要な施策に取り組む体制に無理はないのか。

〔答〕 企画財政課だけではできないので各課との連携を強化していく。



山本忠志 議員

所要時間 28分

「感染症は災害」との認識で対応を

〔問〕 新型コロナウイルス感染予防対策を町民に周知する方法を改善できないか。

〔答〕 総務課長 現在、町のホームページと防災無線を使って周知を図っている。今後は、インターネットを利用していない方や高齢者のために、印刷物での周知を考えている。

〔問〕 今後の中長期対策と水際対策は。

〔答〕 町では、密閉空間での行事・イベントの

自粛を行っている。また都に対しては、情報提供や患者搬送の支援、財政支援の確保などの緊急要望を行った。

今後は、プライバシー保護に配慮しながら空港での水際対策を実施し、臨機応変に感染予防を関係機関と連携して進めたい。

八丈町の「GIGAスクール構想」を問う

子どもたちにとって「読み・書き・そろばん・ICT」は、不可欠の世の中になった。国が打ち出した「GIGAスクール構想」を八丈町に導入するに当たって、以下4点を問う。

〔問〕 教師のICT活用能力育成の進め方は。

〔答〕 教育課長 八丈町立学校では、これまで2年間「ICT教育環境整備事業」や「プログラミング教育」に取り組んでおり着実に研究を進めてきた。

今後は、導入期・標準期・発展期の3段階に応じた研修を進め、教員相互のサポート体制の構築に努める。

〔問〕 学校のICT化と教師の働き方改革を両立させるための取組みは。

〔答〕 国で進めているICT支援員の活用や、東京都にも人的・財政的支援を要請していく予定である。

〔問〕 ICT機器の使用による弊害と、ICTメディアリテラシーの育成に関する町の考えは。

〔答〕 「SNS八丈ルール」の徹底を図るとともに、授業の中でICTを活用しながら、段階的にメディアリテラシーを育成したい。

〔問〕 障害のある子ども達のための、ICT機器の活用法は。

〔答〕 特別支援学級にも新しいタブレットと無線ランを導入し、画像・映像・音声を用いた効果的な教育指導を実現したい。

メディアリテラシーとは

情報を伝達する媒体（メディア）を使いこなす基礎的な素養のこと。

メディアを通じて情報を取得・収集し、取捨選択および評価・判断する能力や、自らの持つ情報をメディアを通して適切に発信できる能力を指す。

官民協働で「選ばれる町、八丈町」に

問 本年2月、八丈町住民有志による「八丈島移住定住促進協議会」が設立された。

町としての支援の考えを伺う。

答 企画財政課長 移住定住の決め手は「人と人とのつながり」であり、同協議会の発足は町としても心強く思っている。

また、既に同協議会とは月に一度の割合で情報提供や意見交換を行っており、官民協働で「選ばれる町、八丈町」づくりに取り組んでいきたい。



沖山 恵子 議員

所要時間 21分

地熱発電掘削中の地熱館の運営方針は

先日行われた、オリックス株式会社による地熱発電所建設計画の説明会によると、地熱用の井戸を掘削中は、ガスの放出を回収する装置はなく、発電所が完成するまではガスの放出も考えられるとの事だった。

掘削井戸の隣にあり、観光客も多く訪れる地熱館について、万が一有毒のガスが出た場合、安全性の問題が起きる可能性がある。新地熱発電所完成まで地熱館を休むと、歴史民俗資料館は規模を縮小しての仮設、ふるさと村は休館という中で、雨の日の観光対策としても好ましくないと思う。旧末吉小学校や名古の展望台など賃料が発生しない代替え場所がある。一時的に他の場所に引っ越し、継続的に開館する予定はないか。委託先のスタッ

フも休館すると職を失うため、場所を替えての継続運営を望んでいる。オリックスによれば10月から掘削を開始したいとの事であり時間は無い。

問 地熱発電掘削中の地熱館の運営方針は

答 企画財政課長 来館者や地熱館従事者の安全が確保できない状況になったらやむを得ず休館する。他に動かす考えはない。休館する場合も明日からすぐということではなく、丁寧に説明しながら対応する。

現金決済のみだった町立病院の支払いをカード可とするのか

問 町立病院のシステム更新が行われ、利便性の向上のためキャッシュレス化も考えていると聞いた。キャッシュレス化は便利になるが、カード会社への手数料やシステム改修で多額の経費の増大を生む。その経費を病院の環境改善に利用し、次の更新でキャッシュレスにした方が良いと思うが、現金決済のみだった町立病院の支払いをカード可とするのか。

答 事務長 他の議員からの要望もあり、現在検討している。技術革新で経費が余りかからないスマホ決済の方法も出てきた。皆

町の施設の長寿命化調査の結果はどうなったか

問 以前、富士中体育館のトイレ改修を要望したら、町の施設の長寿命化調査の結果を待って考えるといわれた。結果はどうなったか。全体の調査結果は閲覧できるか。

答 教育課長 富士中は校舎も老朽化しており判断が難しく調査結果を分析中である。また、長寿命化調査の結果は教育課で公開している。



山下 則子 議員

所要時間 13分

八丈町の避難所管理運営の適正化を

問 八丈町のホームページには、各避難所の食料の備蓄品と数量が掲載されているが、避難所によって備蓄品にバラツキがあるのはなぜか。また、昨秋の台風時、1日分の食料等を持ち自主避難した人が2日間にわたってしまったことがあったと聞く。消費期限が迫った備蓄品は自主避難者に提供したらどうか。

更に、毎年約50名の赤ちゃんが誕生していることを考え、備蓄品リストに液体ミルクを加えて欲しいが町の考えを問う。

答 総務課長 備蓄品は倉庫の容量、また危険を分散するという考え方から分けて置いている。もちろん災害時は必要に応じて町職員がそれぞれの保管場所から避難所へ持って行く。

消費期間が迫っている備蓄品は、有効活用について前向きに検討していく。

液体ミルクについては、保存期間も6ヶ月から1年と短いので困難と考える。むしろ自助という部分で液体ミルクや離乳食の日常備蓄をぜひ勧めたい。液体ミルクのことは検討事項とさせてもらう。



岩崎 由美 議員

所要時間 16分

正確な気象予報のためにドップラーレーダー設置の要望を

問 八丈島から測候所が撤退して10年以上が経過した。現在、八丈島の気象予報には千葉等にあるレーダーを使うが、高度5,000m以下の雲は映らない。八丈島にドップラーレー

ダーを設置すれば、天気予報の精度は増し、さらに南の青ヶ島や鳥島方面の雨雲も把握できる。大規模災害対応のためにも、八丈島にドップラーレーダー設置の要望をお願いしたいがいかがか。

答 総務課長 平成17年度以降、気象庁がドップラーレーダーに順次更新しており、本年度において全国20カ所の気象レーダーがドップラーレーダーになった。最近の著しい気象変化や土砂災害や短時間での大雨、警報などへの正確な情報は重要なことと考える。レーダー設置の要望を行っていきたい。

誰もが住みやすい八丈島に

問 SDGsをテーマにしたワークショップが総合開発審議会において開催された際、高校生から出された意見の中にLGBTに関するものがあった。行政としてLGBTの課題解決に向けた施策のひとつに「パートナーシップ制度」がある。今年1月の時点で34自治体が導入している。

多様な人が暮らしやすい八丈島にするために、この制度の導入は検討できないか。

答 総務課長 八丈町基本構想には「全ての町民が、互いに尊重し合い、いきいきと暮し続けることのできるあたたかい町」とある。性別等にとらわれず、多様な個人が尊重され、あらゆる分野に参画できる社会の実現を目指すことが重要。議員がいわれるように、この視点での町の施策はないが、どのようなニーズがあるのか、今後となるが基本構想基本計画策定にあたって、考えていきたい。

LGBTとは

(Lesbian)レズビアン【女性同性愛者】(Gay)ゲイ【男性同性愛者】、(Bisexual)バイセクシャル【両性愛者】、(Transgender)トランスジェンダー【性別越境者】、それぞれの英語の頭文字からとった性的少数者(セクシャルマイノリティ)の総称です。

都立八丈高校に特別支援学校併設の推進を

問 知事との意見交換で町長はこの件に触れたとのこと。詳細は。また今後の取り組みは。

答 町長 八丈町の大きな課題のひとつと申し上げた。その場では具体的な回答は無かったが、この5月に予定されている要望活動で再度お願いしたい。高校卒業の資格取得など、保護者がどのような形で望んでいるかが把握されてこなかったために、なかなか進まなかった経緯がある。来年中学校を卒業する保護者の方とも話したが、今年の7月がリミットとのこと。強く要望していくので、皆さんにもよろしくお願いしたい。



浅沼隆章 議員

所要時間 25分

感染症対策について

問 イベント等の自粛が予想されるが、八丈町が関わる島外のイベントの島じまんや東京オリンピック・パラリンピックのイベントについて中止や延期等の対応が検討されているのか。

答 産業観光課主幹 島じまんについては現在各自治体、事業者などに対して調査を実施し、今月中にイベントの開催や中止を決定する日程を判断する。また、オリンピック・パラリンピックは町で実施される聖火リレーを含め開催する方向で進めている。

問 影響が長期化された場合の産業への風評被害について、町として対策を講じる予定はあるか。

答 産業観光課長 東京都や日本政策金融公

庫による融資や相談窓口を八丈町商工会に対応をお願いし、町単独の施策については、今後の国や東京都、他自治体の動向を見ながら考える。

移住定住促進について

問 町として民間の自助努力に任せるのではなく、移住定住を促進させるために積極的に求人情報を集め、移住希望者に仕事を紹介できる体制の整備を行い、空き家バンクの登録件数を増やす取り組みや空き家の有効利用を町が率先して行うことで移住定住者の促進につながるかと考えるが、町の方針を伺う。

答 企画財政課長 おしごと掲示板や空き家バンクを開始するため調整しているが、情報が集まりにくい問題点がある。空き家の活用は積極的に取り組みたい。また、人手不足は新たに創設された定住促進サポート事業費補助金制度を町にあわせた要綱としながら求人につなげていく。



災害時の水道整備について

問 水道事業は多額の費用がかかり、事業者がいないため更新が追い付かない状況にあると話があった。災害が起こった際に、事業者がいない状況での復旧作業をどの様に進める計画になっているのか。

答 企業課長 地域防災計画にしたがい、優先順位をつけて復旧していく。停電時には水道施設の早期復旧について東京電力との協力体制は構築済み。

質疑より

新型コロナウイルス感染症に関する集中審議を行いました。他にも多数の質問が上がりましたが、状況も変化しているため抜粋して掲載します。

● 病院の対応

沖山恵子 議員 感染症の検査は八丈島でできるのか。

病院事務長 島外へ送るので数日間かかるが、可能である。



山下 巧 議員 患者が増えた時の対応は。

病院事務長 発生の抑制を念頭においている。

● 保育園の対応



菊池 良 議員 保育園はどのような状況か。また消毒等の対応は。

福祉健康課主幹 できるだけ家庭でみるようによびかけているが、利用状況はいつもと変わらない。消毒はコロナに関係なく、毎日実施している。

● 小中校の対応

沖山恵子 議員 特別支援学級の人たちを含め子どもたちへの対応は何か考えてないか。

教育長 特別支援学級については通常学級以上に家庭訪問を通して、ケア・助言等十分に配慮して回数を増やす。通常学級には休校期間の3週目からは子どものケアが必要なので、1日か2日登校日を設けて、ケアしたり課題を与えたりする。

● 観光関連事業への対応

岩崎由美 議員 観光事業者は苦しい状況だが町の支援は。また返済の必要のない支援の検討などをお願いしたいがいかがか。

産業観光課長 中小企業には都や国でも実施。返済の必要のない支援については、要望は上げるが未定である。

山下 巧 議員 全日空が第2便（1983・1984便）について予約を中止しているが、このまま減便につながらないか。

企画財政課長 今のところ情報はない。状況が落ち着けば復帰するものと認識している。

● 周知の徹底を

浅沼隆章 議員 発熱者は他者に接触しないように受診するよう周知を。

病院事務長 周知はしている。

菊池 良 議員 ホームページなどをみない人も多い。防災無線や自治振興委員経由で周知できないか。また町民へ向けた町長からのメッセージを。

総務課長 うがい、アルコール消毒の徹底を呼びかける防災無線や、チラシでのお知らせを検討している。

町長 防災無線でメッセージを伝える。

山下則子 議員 空港の体温検査は、ほとんどの方は任意だから受けない。積極的にPRしていない。町長から支庁や空港の方に検査するブースを飛行機を降りてくる人にもっとわかりやすく、またなんとか検温してもらおうように工夫をしてほしいと要望を出してほしいが、いかがか。

町長 今の状況では強制はできないが、センサーで測る体温計が入れば全員やっていたいくことになる。

和歌山県田辺市行政視察報告

日 時 令和2年1月20日～22日

参加議員 奥山幸子・浅沼憲春・岩崎由美・菊池良・廣江才・金川孝幸・浅沼拓仁（監査委員）

視察の目的

- ◆「みんなで町づくり補助金」を学ぶ
- ◆文化交流センター「たなべる」の見学
- ◆農福連携事業の視察
- ◆「和歌山県民感謝の碑」建立を通じた田辺市との交流

田辺市は、紀伊半島の南西側、和歌山の南部に位置し、県全域の2割を超える近畿最大の面積を有する、人口7万3734人の中核都市です。世界遺産に登録された熊野古道や闘鶏神社などの歴史や文化遺産に加え農産物の南高梅も有名です。

「みんなで町づくり補助金」

「みんなで町づくり補助金」は、地域の活性化を目的に、民間団体が地域資源を活用し、公共性の高い施設の整備（遊歩道整備や景観保全）等を行う際に費用の一部を補助するハード事業と、公益に寄与する市民団体（NPO等）の実行委員会立ち上げを支援する目的で最長3年間まで事業補助をする、ソフト事業があります。ソフト事業は自分達で資金を集める努力も求めています。



みんなで町づくり事業の説明を聞く

文化交流センター「たなべる」

文化交流センター「たなべる」は老朽化した市立図書館と歴史民俗資料館の機能を併せ持つ文化施設として開館しました。平成30年の入館者



たなべる図書館

は図書館21万2千人、歴史民俗資料館4千人です。利用者は多く、平日の午前中でも85台の駐車場は7～8割埋っていました。図書館は開放的で多くの書籍が分かりやすく配置され、インターネットで本の場所や貸し出し状況を検索できるシステムの他、DVDなどの映像や音響を個別に利用できるスペースも確保されていました。



歴史民俗資料館の展示

歴史民俗資料館は、歴史的文化財も多く貴重な資料も展示されていましたが、スペースの関係か展示資料の数は少なく感じました。

農福連携事業



農福連携事業 峯上氏に話を聞く

農福連携事業は、友人を過労自殺で亡くした事をきっかけに自殺する人々が無くなるように仲間、居場所、仕事作りに取り組む梅農園を訪問しました。園主自身がひきこもりの体験者で、梅作業で鬱やひきこもりを治した経験を活かし、食事や運動、睡眠、心のケアなどのアドバイスを行っています。カフェやシェアハウスなどの事業を展開し、今では元利用者がスタッフとして活躍しています。

「和歌山県民感謝の碑」

明治時代に和歌山県の漁師が海難事故に遭い多くの犠牲者が出ましたが、210人の漁師は八丈島にたどり着き、貴重な食料などの提供を島民から受け無事に帰還できました。感謝の思いは後々まで語り継がれ、2年前に有志が「和歌山県民感



漁船遭難慰霊碑に献花

謝の碑」を八丈島に建立しました。私達は多くの犠牲者のお墓のあるお寺を訪問し、慰霊碑で犠牲者を追悼しました。また、小学5年生の道徳授業で紙芝居「なさけの島をわすれるな！」を児童と共に鑑賞し交流を深めました。



田辺第三小で行われた紙芝居の様子

地域や予算の規模の違いもあり同じことは出来ませんが、すべて補助に頼るものではなく、取り組むきっかけや動機につながる補助の在り方を学ぶことができました。

報告者 金川孝幸

島内見学レポート 八丈町クリーンセンター

日時 令和元年8月8日

参加議員 宮崎陽子・浅沼隆章・山下則子・山本忠志・冲山恵子・山下巧・岩崎由美・廣江才

私たちの生活を裏方で支えるゴミ処理施設クリーンセンターを視察しました。

現在のゴミ焼却炉は老朽化し2024年供用の新クリーンセンター建設まであと5年間、しっかりと働いてもらいたいですね。すでに故障が多く、細かいメンテナンス修理に多くの費用がかかるとの事。H25年3100トン処理していたゴミは、H30年2800トンほどで人口減に伴い減る傾向にあります。

現在のゴミ処理能力は1日17トン、新しいクリーンセンターは13トンに縮小しても対応できるそうです。

現場の作業環境は分別されないゴミが含まれるため分別に多くの手間がかかります。(金属、ゴム、硬質プラ、長物など)

搬入されるゴミの分類は紙45%、草木27%、生ごみ12.5%、プラスチック10%、その他で、生ごみ、生の草木には水分が多く燃焼効率が悪いいため重油補充に年100万円かかる事もあるそうです。

視察で気になったのはゴミ搬入プラットフォームの悪臭がひどく作業環境は良くないことでした。慣れと消臭剤で対応しているとの説明でしたが、同じフロアで金属、ガラス、缶類の分別



可燃ゴミに混入されていた金属

は作業員の健康の為にも改善をするべきだと思われれます。また、臭気を遮断するシステムは効果が無かったのか使われていなかったです。

現場の苦悩は金属の混入をされてしまうこと、空き缶を灰皿に使ったり、なま物を入れるとひとつひとつ洗って取り出さなければならず、大変な手間がかかります。

新旧共に高温焼却でダイオキシン排出を防ぐ最先端技術の焼却炉です。島民の皆様、ゴミの出し方に気を付けてクリーンな八丈島を目指しましょう。

報告者 山下巧



若者インタビュー

団体職員 中島 潮音さん

Q 自己紹介をどうぞ

A 中島潮音 (なかじましおん)。19歳。大賀郷生まれ 若草保育園、大賀郷小学校、大賀郷中学校、八丈高校卒業後八丈町社会福祉協議会に勤務しています。

Q 八高を卒業して島に残ったのはなぜですか。

A 八丈の自然が大好きで、中学生の頃から残りたいと思っていました。両親が祖母祖父を介護するのを見て、何か人の役に立ちたいと思いました。都会はリフレッシュに行くには良いけれど島の環境の方が落ち着きます (笑)。

Q 社協では どの様なお仕事をしているのですか。また、社会人になって1年経ちましたが今の心境はどうですか。

A 主に給食サービスを担当しています。社会人になって、仕事の大変さがわかりました。学生の時とは楽にお金が入ると思っていました。

Q どの様な八丈になってほしいですか。

A 若者が帰って来たり、移住出来るように多種多様な仕事場が増えていけばいいな。温泉プールや室内施設、ファストフード店がほしいです。(山下則子)



中島潮音さん

知恵袋インタビュー

開善院住職 浜野 文雄さん

八丈島の開善院善光寺を訪ねて、住職の浜野文雄さんにインタビューしました。

Q 八丈島でのエピソードをお聞かせください。

A 生まれは北海道ですが、八丈島に移住してから約30年。昔は、島の議員さんとお話をする機会も多く、地域の相談役として頼られる立場でもありました。現在ではそのような事も次第に薄れてきたように思います。島の生活は自分自身にとっても合っている事、そして、地域の皆さんは信心深い人達が多く、素直に接して下さる事が大変嬉しいです。



浜野文雄さん

Q ご住職の立場から法話をお願いします。

A 「忍の徳たること持戒苦行も及ぶ能わざる所なり。能く忍を行ずる者は有力の大人と為す」これは一番最初に師匠から、このような坊主になれ！と言われ、好きな言葉でもあります。「許す」事の大切さ、どんな苦勞も耐え忍ぶ事が出来る人こそ、徳のある立派な人であるという教えです。皆が心におさめてくれる事を願い、法話として伝えていきます！(宮崎陽子)

[あしがき]

令和の国難来る！といわれる今日。私が子供の頃、学校の先生が「ジャパン・アズ・ナンバーワン」を口癖に話していた事を思い出しました。国土が小さくても諸問題や課題を上手く処理していた日本は、アメリカ等の他国から「日本を見習うべき！」という一種の社会現象にもなった時代がありました。世界と比べると犯罪も

少なく、衛生的な生活環境と何よりも人々の礼儀正しさ、そして国民皆で助け合う精神が高く評価されていました。日本の高度経済成長が著しかった40年前を振り返り、今後、私たちがそれぞれどのような役割を果たしてこの国難を乗り越えるのか、日本人として強さの源泉が今、問われています。 宮崎陽子

発行人 八丈町議会議長 奥山 幸子

編集 議会だより編集委員会 委員長 岩崎由美 委員 宮崎陽子 山下則子 沖山恵子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2

tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437 メール gikai@town.hachijo.tokyo.jp

